



# 消防団たずね歩き

## あんな海、すまはま!

須磨海岸では、毎年海開き前に各行政機関やボランティア団体・関係事業所が参加し、水難救助訓練を実施しています。今年も、避難経路の確認や津波災害に対する意識啓発、また冷静に判断及び行動することを目的に、南海トラフ大地震発生による津波(大津波)警報発表を想定し、住民及び海水浴客などを津波被害警戒区域内からの避難訓練をおこないました。この訓練は一般の方も参加できる訓練とし、私たち須磨消防団は、参加していただいた方々を安全に津波被害警戒区域外へ誘導する役目を担いました。

私はこの訓練で2つのことを感じました。

1つ目は、須磨海岸の北側はJR山陽本線及び国道2号線が東西に走っており、北側

への避難が容易でない場合もあり得るということです。JR山陽本線は地震発生時に遮断機が下りている場合もあり、国道2号線は避難する車で道路が渋滞している可能性もあります。北側へ避難することでさえスムーズにいかないということが実感できました。この訓練で、団員一同改めて日頃の訓練や備えの大切さを知ることができました。

そして2つ目は、時間が限られているということです。津波避難は時間との戦いで地震発生から約1時間で活動を中断し、全団員も一旦避難しなければなりません。この1時間で数万人を避難させるために今後いろいろな想定を考え、須磨海岸の付近住民と観光客の安全を守りたいと思います。

(須磨消防団 団本部 副団長 元部雅由)



**地域に根付いた消防団を目ざしています!**

～地域住民の安全・安心を確保するために～



神戸市消防局  
神戸市消防団

